事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No. 3040 (H.24)No. 3040

事務事第	業名	浄化槽設置費等補助金					
	担当部局名 担当室名 連絡先					連絡先	
	上下水	· 水道部					63-4111
新·継		事業期間 根拠法令等					
継続	平成	2 年度~	平成	年度	名張市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱		

事	ソフト施策事業
業区	扶助費
分	補助金交付金
複	投資事業
数選	施設等維持管理
択可	内部管理事務
<u> </u>	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総	政 🕏	€ 3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
合	基本政策	〔 3	快適な生活環境づくり
計	施	耟 1	下水道等
画	小施;	€ 3	その他の生活排水処理
重点	点施策コー	۲	

2. 予算区分

1

	会計区分	事業コード	253201		
	一般会計	(中事業名)	予算書事業名		
款	衛生費	浄化槽設置費等補助金			
項	保健衛生費	(小事業名)			
目	環境対策費	浄化槽設:	置費等補助金		

3. 事務事業の概要

事業概要

合併処理浄化槽設置に伴い、補助金申請を受け適切と認められた場合に一律150千円を交付します。対象者は、下記に掲げる区域を除いた市内の地域で、住宅等に補助対象浄化槽を設置しようとする者

- (1) 下水道法第4条第1項の認可を受けた事業計画に定められた予定処理区域
- (2) 住宅地の中の汚水処理場の利用が計画されている区域
- (3) 農業集落排水事業の事業採択された処理区域
- (4) 戸別浄化槽事業の事業採択された処理区域

めざす効果(事業目的)

生活排水等を処理する合併処理浄化槽の設置と適正 管理を進め、公共用水域の水質汚濁防止を図ります

4.総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

		平成23 ² (実績·決算		平成24年度 (計画·作成時予算額)			王の実施手法(複数) ^{E 施}	選択可)
	主な事業の 実績·計画	(実績・決算 事業内容(事業 浄化槽設置費補 3,000千円 (150千円/基) H22に国庫補 受入済み	量)·事業費] 助金 <20基)	[事業内容(事業量)·事業費] [事業内容(事業量)·事業費] ②金 ②20基) ②20基) ②3,750千円		市が直接接 業務委託(指定管理 補助金·交 その他 (平成25年度 (計画) と槽設置費補金 3,750千円/基× 基)	全部・一部)により実 付金 平成26年度 (計画) 浄化槽設置費補 助金 3,750千円 (150千円/基×	が ・
j	直接事業費		3,000千円	3,750千円		3,750千円	3,750千円	3,750千円
財	国庫支出金		550	1,250		1,350	1,350	1,350
源内	県支出金		1,000	1,250		1,350	1,350	1,350
訳	地方債							
千円	その他()							
Ü	一般財源	(0)	1,450	1,250		1,050	1,050	1,050
 도	職員		0.16人	0.03人		0.03人	0.03人	0.03人
数	臨時職員等							
4	既算人件費	(0千円)	1,168千円	219千円		219千円	219千円	219千円
4	総事業費	(0千円)	4,168千円	3,969千円		3,969千円	3,969千円	3,969千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。 平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。

特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。 平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5.主な事業指標と成果

	事業指標名			H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	受け適切と認められた場合に一律150千円を		16	27	27	27	25
		交付した件数		16	27	8	20	
活動指標	目標	生活排水処理施設の整備率	%	-	-	-	-	94.5
70 = 20 10 100	実績	エバコアグンモルビスジン正開十		92.1	93.2	93.0	93.0	
	目標							
	実績							

6.考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)		今後の対応方針
浄化槽補助金については、12件増加 整備率は、変わらず。	制度の智	各発を進め活用促進を図ります。

7.事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
公共下小垣、辰業集洛排小小笠浦され、事業対象地区は減少しつつありますが、廃止すれば対象地域水域の水質向上が遅れ、水質汚染が各個されます。	公共下水道、農業集落排水が整備され、その事業対象地区外と水質対策に不平等が生じています。廃止すれば地域水域の水質向上が遅れ、水質汚染の防止という目的が市レベルで達成しに〈〈なります。また、個人の自己負担で実施することは可能ですが、公共下水道、農業集落排水地域との格差是正を要求する市民の要望は高い。

8.担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

	点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)は の場合
(1)	現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
	できない	
(2)	効果·効率性の観点から他の事務事業と連携·統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
	できない	
(3)	新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
	できない	
(4)	事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
	ない	
(5)	事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
	反映予定なし(該当しない)	
(6)	その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	汲み取り便槽の埋め戻しや単独処理浄化槽の撤 去費用に対しても補助対象とすることで補助金額
	検討余地がある	を増額し合併処理浄化槽への転換を促進する。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)	特記事項
継続(現行)	
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載	
対象地域水域の水質向上促進のため継続して実施する。	